

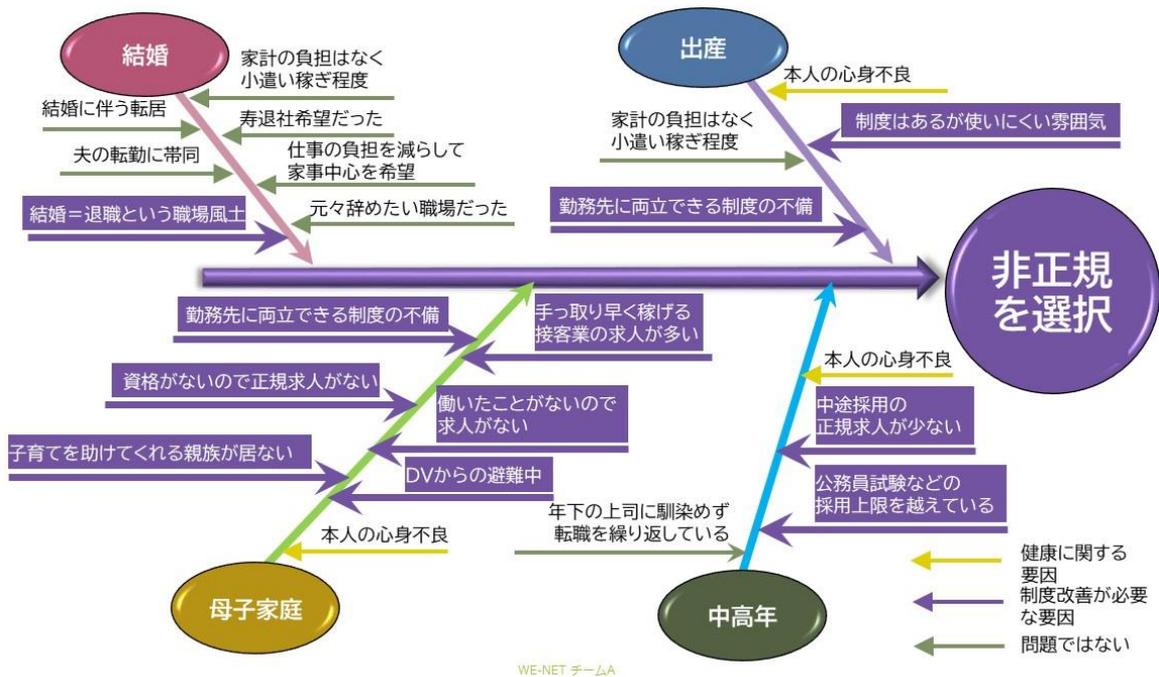
■チームA 女性の貧困解消について ～貧困による負のスパイラルを断ち切ろう～

私たちは、コロナ禍で顕在化してきた「女性の貧困問題」について探求しました。

2020年度の労働力調査によると、全雇用者のうち女性の割合は46.5%、そのうち54.4%が非正規雇用者となり、働く女性の半数以上が非正規雇用者となります。また女性の非正規雇用者の平均賃金(年収)は、約257.8万円と、正規雇用者の男性と比較すると半分以下の賃金です。

これらの状況から、女性の貧困が多い原因は、男性に比べ女性が低賃金の非正規雇用者が多いためではないかと推察しました。

次に、女性が非正規雇用者を選択する理由を考察してみました。その結果、母子家庭の母親である女性には年齢・経験の制約の上に育児に伴う時間的制限が加わり、条件に合う正規雇用の募集がないことから、非正規雇用を選ばざるを得ないのだとわかりました。



また、正規雇用女性の権利と健康を守るためには、十分な産休・育休の隙間を埋める非正規雇用という枠組みが必要不可欠であることもわかりました。

しかしながら、現実にはひとり親世帯の貧困率は48.3%、約2人に1人の割合となり、賃金が低い非正規雇用が多い母子世帯に限れば、その比率はさらに高いと推察されます。

貧困家庭では子どもに十分な環境が与えられず、それは再び次の世代へ繰り返されるという負のスパイラルが出来上がっていきます。

・負のスパイラルが！



私たちは、負のスパイラルを断ち切るために、政府、地方自治体、企業の3者に対して以下の提言を行います。

政府	「ステップアップのための環境づくり」
地方自治体	「支援対策へのアクセス改善」
企業	「サステイナブルな働き方を」

政府には働きたい人や学びたい人に対する「ステップアップのための環境作り」を、地方自治体には制度があっても使い方がわからない人々に対する「支援対策へのアクセス改善」を提言します。

そして企業には、「サステイナブルな働き方を」導入することを提言します。能力アップしたい人、稼ぎたい人、ほどほどに働きたい人、今は働けない人など、個人の状況に合わせた多様な働き方が必要です。

また、非正規雇用者の能力開発や待遇改善にも、もっと取り組んでももらいたいと思います。働きたい人が制限を受けずに、能力を発揮できるような雇用システムを望みます。それがこれからの人口減少社会において、労働者人口不足を食い止めることにもつながるのではないのでしょうか。

最後に、私たちは、業種も環境も家族構成も異なりますが、このWE-netをきっかけに顔を合わせ、約7か月間「女性の貧困問題」について、さまざまな議論を重ねてきました。

女性の貧困問題を論じる中で、貧困は他人ごとではなく、現実に目の前にあるもの、そして私たちが暮らす社会が生み出すものということに気づきました。

この社会にはさまざまな人がいます。教育を十分に受けられない人、就職がうまくいかず非正規雇用を続けている人、看護や介護のために収入を得ることができない人がいます。反対に働けるのに働かない人がいることや給付金の不正受給問題も存在します。私たちやその家族も、いつどのような状況に置かれてもおかしくないと言えます。

そこで、「貧困を自分事に考えよう」と宣言します。

さらに、私たちができることは小さなことですが、その小さな一歩を踏み出すために、この7か月間で学んだことを生かさなければならぬと考えます。そのために「社内で行動を起こし、企業に働きかける」ことを宣言します。

また、私たち自身は、「常に求められる人材であるためにスキルアップし続け、自分も仲間も活躍し続けよう」と呼びかけます。

最後に、自らの意思で人生が選択できるように「誰もが生きやすい、暮らしやすい社会を作ろう」これらが私たち5人の宣言です。

私たちの宣言

- 貧困を自分事に考えよう！
- 社内で行動を起こし、企業に働きかける！
- 常に求められる人材であるためにスキルアップし続けよう！
- 自分も仲間も活躍し続けよう！
- 誰もが生きやすい暮らしやすい社会を作ろう！

WE-NET チームA